



## OB・OG 座談会 樹徳での学びが将来への架け橋に

### ◆ 様々な分野で輝く卒業生たち

**進藤(進路指導主事)** 3人とも8期生で同級生だけれど、こうして集まって話すのは初めてだね。さっそくだけれど、樹徳中高一貫校を卒業後のみんなの近況について教えてくれるかな？

**今井** はい。群馬大学医学部医学科を卒業して医師国家試験に合格しました。現在は東京医科歯科大学医学部附属病院で、研修医として日々研鑽を積んでいます。今のところ、脳神経外科に興味がありますが、2年間の研修では様々な診療科でバランス良く医療を学んでいます。

**小倉** 僕は東邦大学医学部医学科を卒業し、医師国家試験に合格しました。その後、東京大学医学部附属病院にて初期研修を行っています。心理学に興味があったこともあり、精神科を目指しています。

**進藤** 二人とも国家試験合格おめでとう。医師として着実に歩み始めているんだね。

高木さんの近況はどうですか？

**高木** はい。私は横浜国立大学教育学部を卒業し、現在は神



東日本大震災災害復旧ボランティア 宮城県岩沼での作業風景

奈川県で小学校の教員をしていて、子どもたちの成長を日々感じています。

### ◆ 樹徳での経験が今の自分をつくる - ボランティア精神の体現 -

**進藤** 今、3人は自分で切り拓いた道を進んでいるけれど、そこに至るまでの樹徳中高6年間はどうか？色々な思い出があると思います。そういえば、8期生は中学3年生の数学の授業の時に東日本大震災が直撃したよなあ。

**高木** そうでしたね。私もよく覚えています。とても怖かったです。教室が3階だったので、揺れがすごかったです。

**今井** 最初はあんな大事だったとは思わなかったです。すぐに隣の新川公園にみんなで避難しました。その後、ボランティアに行ったことが今でも思い出に残っています。

**高木** そうそう。6期生の先輩がすぐに行動して、高校生が災害ボランティアに参加したことが話題になり新聞にも報道されました。その後私たちも高校1年生のときに泥かきボランティアに行きました。希望者でバスに乗って現地に向かい、病院などの復興をお手伝いしました。

**小倉** 被災地での光景はとても印象的でしたね。亡くなった人のことを思いながら作業していくうちに人命を救う仕事に就きたいと思ったんです。

**進藤** 悲しい出来事だったけれど、それを受けとめて3人が今自分たちの道を進んでいることを誇りに思います。そんな8期生は行動力があって活発だったけれど、それが学校行事にも活かされていたよね？

**今井** もちろんです！本校(樹徳高校)と合同の体育祭では、女子が優勝したね。



今井 啓之君

8期生  
群馬大学  
医学部  
医学科卒



小倉 龍也君

8期生  
東邦大学  
医学部  
医学科卒



高木 綺美さん

8期生  
横浜国立大学  
教育人間科学部  
学校教育課程  
教科教育コース(理科)卒

**高木** 文化祭では、茶道を経験させていただきました。そこで茶道の楽しさや落ち着いて何かに集中することの面白さを知り、大学そして社会人になっても続けています。現在も樹徳中学校では茶道や華道をする授業があると聞きます。勉強だけでなく、心の成長も出来ると思います。

**進藤** 色々なことがありましたね。今井君は勉強にも部活にも全力投球でしたよね？

**今井** もちろんです！陸上部に所属し、高校3年生の総体までやり抜きました。今思うと、この経験が大きな自信に繋がったと思います。そして、本格的な大学受験勉強は夏からでした。樹徳の先取り教育のおかげで他校に差をつけられることなく、受験を迎えることが出来ました。樹徳中学校は文武両道を目指したいという人にもおすすめです。

**進藤** 3人は海外にも興味があって、積極的に海外研修にも参加していたね。

**高木** はい。まず、中学3年生でのイギリス語学研修は他の学校ではできない貴重な経験だと思います。ロンドンでは生徒全員がホームステイをしました。語学力はまだ未熟でしたが、英語しかない環境に身を置くことができ、身振り手振りを交えて何とか伝えようと奮闘した記憶があります。

**小倉** そうですね。中学3年生で海外での生活を体験できるのは樹徳中高一貫校の魅力だね！僕は高校2年生の時にアメリカへの海外科学研修に参加しました。そこで海外の生徒と交流し、自分の語学力の無さを痛感し、精進しようと思ったんです。

**今井** 僕は卒業後も海外での学びを大切にしていますね。これは、樹徳での6年間で海外というものが自然に身近に感じられるようになったからだと思います。大学5年生のときにインドネシアに留学し、海外の医療について学んできました。特に医師は英語が必要なスキルとなるので、今後も英語の勉強を続けていきます。

**進藤** 3人は学ぶチャンスを意欲的に捉えていたね。その他の学校生活ではどんな思い出があるかな？

**小倉** 希望者で勉強合宿をしたことが印象的ですね。みんなで受験に向かって頑張ろうという雰囲気がありました。受験は個人での戦いの面もありますが、仲間の支えも大きかったですね。

**進藤** そうだね。樹徳中高一貫校は少人数だからこそ強い仲間意識が生まれるね。小倉君は医系進学講座にも参加していたよね？

**小倉** そうなんです！医系進学講座では、マウスやアフリカツメガエルの解剖を経験できたので、大学に行ってから動物解剖や研究で率先して動くことができ、研究室のリーダーにもなりました。

**今井** 樹徳中高一貫高には学びたいという人々へのサポートがありますね。特に、僕は中高時代のたくさんの小テストが有り難かったですね。英単語や英文法、古文単語など、暗

記モノや反復学習が必要なことを繰り返し扱ってもらって、それらをこなしていくことで自然と身につきました。当時は少し大変でしたが、僕は暗記が苦手だったので、後になってとても助かりましたね。

**高木** そうだね。私は大学の推薦入試に向けて、小論文の添削や面接の練習を手厚くいただきました。この経験は、大学入試だけでなく教員採用試験の時にも活かされました。

**今井** 僕も群馬大学の入試で英語小論文がありました。小論文の形式が少々特殊で対策が難しいのですが、センター試験が終わった後毎日のように福田先生に特訓していただきました。その甲斐があって、本番は全科目の中で小論文の手応えが一番でした。

**進藤** みんな勉強に対して誠実に向き合っていましたね。だから先生たちもみんなの気持ちに精一杯応えたくるんですよ。卒業後もずっと応援しています。みんなのこれからの活躍を本当に楽しみにしていますね。

### ◆ 後輩達へ

**小倉** 少人数教育のため先生と生徒の距離が近く、先生方は夢に向かう僕を全力で応援してくれました。こんな恵まれた環境はなかなかありません。一貫校での生活はかけがえのない一生の思い出となります。ぜひ樹徳で濃密な6年間をすごしていただけたらと思います。

**今井** 樹徳中高一貫校の先生方は、苦手な科目については基礎の基礎から、得意な科目についても発展的な内容について、理解できるまでとことんつきあってくださいます。樹徳中高一貫校は皆さんの目標を達成し、その先にある大きな夢を叶えるためにふさわしいところだと思います。

**高木** 中学入学当初は、自分の将来についてあまり深く考えていませんでした。一貫校の6年間を過ごす中で自分がやりたいことを見つけたとき、それを実現するために先生方がたくさん支えてくださる環境だったことに感謝しています。勉強だけでなく、人として成長できる素敵な学校だと思います。



共生図書館 カフェスタイルスペースにて